

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第3区分  
 【発行日】令和6年2月6日(2024.2.6)

【国際公開番号】WO2022/230746  
 【出願番号】特願2023-517475(P2023-517475)

【国際特許分類】

C 0 8 J 9/16(2006.01)

【F I】

C 0 8 J 9/16 C F D

10

【手続補正書】

【提出日】令和5年10月20日(2023.10.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

20

ポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系発泡粒子であって、  
 ポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系樹脂(A)、および、非イオン性の水溶性高分子(B)を含み、  
 前記非イオン性の水溶性高分子(B)の含有量は、前記ポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系樹脂(A)100重量部に対して0.10重量部~5.00重量部であり、  
 前記ポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系発泡粒子の独立気泡率が、90%以上である、ポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系発泡粒子。

【請求項2】

前記非イオン性の水溶性高分子(B)が、疎水基を有するものである、請求項1に記載のポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系発泡粒子。

30

【請求項3】

前記非イオン性の水溶性高分子(B)が、生分解性のものである、請求項1に記載のポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系発泡粒子。

【請求項4】

前記非イオン性の水溶性高分子(B)が、ポリアルキレンオキシド、ポリビニルアルコール、およびセルロース誘導体からなる群より選択される少なくとも1つである、請求項1に記載のポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系発泡粒子。

【請求項5】

前記非イオン性の水溶性高分子(B)の含有量は、前記ポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系樹脂(A)100重量部に対して0.10重量部~1.00重量部である、請求項4に記載のポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系発泡粒子。

40

【請求項6】

前記ポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系樹脂(A)が、ポリ(3-ヒドロキシブチレート)、ポリ(3-ヒドロキシブチレート-コ-3-ヒドロキシバレレート)、ポリ(3-ヒドロキシブチレート-コ-3-ヒドロキシバレレート-コ-3-ヒドロキシヘキサノエート)、ポリ(3-ヒドロキシブチレート-コ-3-ヒドロキシヘキサノエート)、およびポリ(3-ヒドロキシブチレート-コ-4-ヒドロキシブチレート)からなる群より選択される少なくとも1つである、請求項1に記載のポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系発泡粒子。

【請求項7】

50

前記ポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系樹脂(A)は、3-ヒドロキシブチレート単位とモノマー単位とを有する共重合体であり、

前記共重合体における全繰返し単位100モル%中の3HB単位とモノマー単位の比率(3HB単位/モノマー単位)が、99/1(mol%/mol%)~85/15(mol%/mol%)である、請求項1に記載のポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系発泡粒子。

【請求項8】

見掛け密度が20g/L~67g/Lである、請求項1に記載のポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系発泡粒子。

【請求項9】

高温側熱量が0.1J/g~20.0J/gである、請求項1に記載のポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系発泡粒子。

【請求項10】

セル径が50μm~500μmである、請求項1に記載のポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系発泡粒子。

【請求項11】

ゲル分率が30重量%以上である、請求項1に記載のポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系発泡粒子。

【請求項12】

請求項1~11の何れか1項に記載のポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系発泡粒子からなる、ポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系発泡成形体。

【請求項13】

発泡倍率が25倍以上である、請求項12に記載のポリ(3-ヒドロキシアルカノエート)系発泡成形体。

10

20

30

40

50